

プランクトン調査（播磨灘）の結果をお知らせします。

【概況】

- ・コシノディスカス・ワイレーが広範囲で確認されました。
- ・その他の珪藻類は非常に少なく、昨日調査した備讃瀬戸よりもさらに少ない状況です。
- ・シャットネラ等の有害種は観察されませんでした。

表：有害・有毒プランクトン調査結果（単位：細胞/mL＊コシノディスカスを除く）

調査地点	水深 (m)	シャットネラ属	カレニア・ ミキモトイ	アレキサンドリウム属	ユーカンビア・ ゾディアクス	コシノディスカス・ ワイレー (単位：細胞/L)
KA23	0	0	0	0	0	1,000
	10	0	0	0	0	1,375
	B-1	0	0	0	0	1,250
KA1	0	0	0	0	0	1,050
	10	0	0	0	0	825
	B-1	0	0	0	0	550
KA2	0	0	0	0	0	1,125
	10	0	0	0	0	1,600
	B-1	0	0	0	0	530
KA3	0	0	0	0	0	1,150
	10	0	0	0	0	850
KA4	0	0	0	0	0	240
	10	0	0	0	0	850
	B-1	0	0	0	0	150
KA5	0	0	0	0	0	525
	10	0	0	0	0	625
KA6	0	0	0	0	0	490
	10	0	0	0	0	1,575
KA7	0	0	0	0	0	425
	10	0	0	0	0	1,275
	B-1	0	0	0	0	290
K4	0	0	0	0	52	725
	10	0	0	0	0	240
	B-1	0	0	0	0	500
T3	0	0	0	0	0	480
	10	0	0	0	0	1,050
屋島湾	0	0	0	0	0	100
	5	0	0	0	0	30

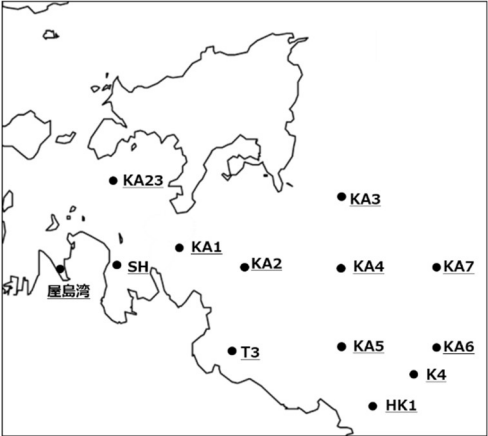
＊コシノディスカスについては試水を濃縮して計数し、1L あたりの細胞密度に換算した値を記載しています。

【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当: 吉田・松下) 電話 087-843-6511
香川県農政水産部 水産課総務・豊かな海づくりグループ(担当: 澤田・秋山) 電話 087-832-3474

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：浅海定線調査事業）



* 調査定点 SH および HK1 は夏季(赤潮発生時期)の臨時点です。

【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	－	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	－	50 細胞/mL